

## 【お知らせ】委員会のご出席について

新型コロナウイルスの影響により受付委員会や専門委員会をzoomで開催しております。出席者全員をカメラで映していただく必要はありませんが、原則下記のとおりご出席をお願いしております。

### ・二名様以上

→委員の指摘の聞き漏らしや齟齬を少なくするため

### ・共同申込時では各社一名様以上

→申込者の責任として、工法に対する注意点や審議時のやり取り等を把握していただくため

なお、議事録には全出席者を記載していただきます。また、受付委員会において、zoomでつながりましたら各社の代表の方が、社名と氏名を名乗っていただきますようご協力をお願いいたします。

## 【お知らせ】請求書の電子発行開始について

ペーパーレス化やテレワークを始めとするお客様の新しい働き方への対応を目的に、請求書の電子発行を開始させていただくことになりましたので、お知らせします。

- ・開始時期：2022年1月4日発行分より開始
- ・対象業務：性能評定課の受託業務（性能評価業務・独自評価業務）全般並びに試験研究センターが実施する性能評価業務及び同関連業務

※ 発行に関する詳細は、以下のサイトをご覧ください。

[https://www.gbrc.or.jp/assets/documents/center/building\\_confirm\\_manual202112.pdf](https://www.gbrc.or.jp/assets/documents/center/building_confirm_manual202112.pdf)

※紙での請求書発行をご要望される場合は、申請書記入時またはクラウド申込時に所定の欄にチェックを入れてご提出下さい。



## 【お知らせ】杭状地盤補強材やくいの支持力係数設定について

弊所では、性能証明が対象とする杭状地盤補強材や性能評価が対象とするくいの支持力評価の申込にあたって、載荷試験の生データをご提出いただき、試験データの整理過程を含めて試験結果の妥当性を確認します。この中で、先端支持力係数 $\alpha$ 設定時の先端平均N値 $\bar{N}$ （性能証明の場合は先端平均換算N値）の取扱いについても確認させていただきますので、性能評価の場合を例として、ご注意いただきたい事項を以下に示します。

### N値の算定範囲について

実運用時に用いるくい材先端から上下1Dw（Dw：先端翼径）間だけでなく、上1Dw下3Dw間で $\bar{N}$ を算出した場合でも、 $\alpha$ に大きな影響がないかを確認するよう求められます。例えば、径 $\phi$ 500mmのくい材を右図のように11.0mで打止めた場合、上下1Dw間（黄色部分）は10.5~11.5m、上1Dw下3Dw間（黄色+緑部分）の場合は10.5~12.5mとなります。それぞれの $\bar{N}$ 算出結果は以下となります。（台形面積で算出）

上下1Dw間の場合

$$\left( \frac{(28 + 35) \times (11.3 - 10.5) + (35 + 60) \times (11.5 - 11.3)}{2} \right) \div (11.5 - 10.5) = 33.3$$

上1Dw下3Dwの場合

$$\left( \frac{(28+35) \times (11.3-10.5) + (35+60) \times (12.3-11.3) + (60+60) \times (12.5-12.3)}{2} \right) \div (12.5 - 10.5) = 42.6$$

$\bar{N}$ の比は1.3程度となり、極限先端支持力度 $q_p$ を $\bar{N}$ で除した $\alpha$ は0.8倍程度になります。設定している $\alpha$ に余裕があれば問題はありませんが、余裕がない場合、上1Dw下3Dwの場合の $q_p/\bar{N}$ が $\alpha$ を下回る可能性が高くなります。その場合、他の算定区間（上1Dw下方2Dw等）も含めた相関性の検討、下方1Dw以深のN値の寄与度の検討等により先端支持力係数の設定の妥当性および打止め管理についても見解を示していただく必要があります。あるいは、 $\alpha$ の設定を見直すことも必要になる場合もあります。弊社としても、開発コスト増に繋がる手戻りは避けたいので、載荷試験計画時からこれらのことに十分に留意していただくようお願いします。

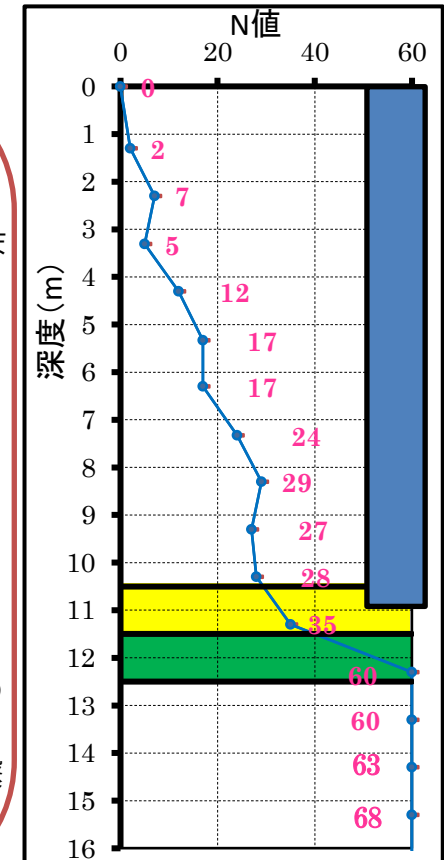


図1 N値算出範囲について

## 【お知らせ】 証明料金の改定について

性能証明業務においては、2000年の業務開始より20年近く料金を変えずに業務を行ってまいりましたが、この度2022年4月の受付案件より料金を改定させていただくこととなりました。申込者様にはご負担をかけることとなってしまう恐縮ですが、ご理解いただけますと幸いです。

表1 2022年3月までの申込料金 (税抜)

区分	申込料	証明料	合計
新規	150,000円	2,000,000円	2,150,000円
改定	150,000円	1,000,000円	1,150,000円
軽微改定	150,000円	200,000円	350,000円

表2 2022年4月からの申込料金 (税抜)

区分	申込料	証明料	合計
新規	300,000円	2,200,000円	2,500,000円
改定	300,000円	1,100,000円	1,400,000円
軽微改定	300,000円	300,000円	600,000円

※『更新』・『追補』・『共同申込料』の料金改定はありません。

## 【お知らせ】 必要試験地について

基礎技術における性能証明または性能評価業務では載荷試験を実施し、目標性能である支持力係数を満たすことを確認いただいています。この度、全国展開を予定している工法に対し、試験地方の偏りを避けるため、試験地を三地方以上実施していただくことになりましたのでご注意ください。

### NGの例

東京、茨城、千葉  
→関東一帯のためNG

### OKの例

福岡、茨城、岡山  
→三地方をクリア

※地域限定の工法は対象になりません。  
 ※条件を満たさない場合は、地域限定の工法となる可能性があります。  
 ※条件を満たしていない改定案件についても改定時にご対応いただいております。

ご不明な点等ございましたらお気軽にご連絡ください。

最近急にまた寒くなりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。寒い時期は鍋が多くなり夏場と比べると野菜を食べる機会が多いような気がします。弊所でも在宅勤務が始まりましたが、こちらは社用携帯により申込者様にご不便をかけないよう行っております。いろいろな事情が重なり外出する機会が減る反面、外に出ないことにより料理のレパートリーが増えていくのは良いことかなとも思います。(編集後記：志手)

発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所  
 建築確認評定センター 性能評定課  
 担当：岩佐、志手、岡谷  
 TEL：06(6966)7600 FAX：06(6966)7680  
 E-mail：seinou@gbrc.or.jp